

令和5年度 校長より ⑬

昨年度の第2回は書面開催でしたが、今年度は第1回に続き対面形式で実施いたしました。12月1日（金）に、第2回学校運営協議会を実施いたしました。7月に行われた第1回の席上で委員の皆様より頂いた施設改修のご意見を県教育委員会に申し入れたところ、令和6年度に改修する方向で調整を図っていくこととなりましたので、今回も委員の皆様、生徒にとって喫緊の課題として感じられている具体的なことをご発言頂くようお願いいたしました。部活動顧問の専門的な指導者の不足、登下校時における生徒のマナー、教員の時間外勤務での負担、授業におけるグループ協議やプレゼンの実施、映像配信による復習の機会などについてのご質問やご意見を頂きました。教員の人事面については県教育委員会に申し入れることし、学校運営面については可能な限り、今後の教育活動において工夫と改善を図ってまいりたいと思います。委員の皆様、貴重なご意見を有難うございました。

今年度も、養護教諭からの報告と生徒保健委員会からの発表を実施しました。12月7日（木）に、学校保健委員会を実施しました。養護教諭からは、令和5年度の生徒の保健室の来室状況、出席停止の状況、スポーツ振興センターの給付状況等の報告がありました。生徒保健委員会からは、5名の生徒から委員会の年間活動報告、「ほけんだより」の特別号作成の経緯、アンケート調査結果の報告がありました。生徒保健委員会の調査報告により、本校の教育相談の課題として、生徒にとってSCの認知度が低いことや、様々な心理的理由により生徒が利用しようとしていないことがわかりました。生徒にとって教育相談体制がより充実できるように、今後しっかりと改善を図ってまいりたいと思います。生徒保健委員会の皆さん、大変立派な報告を有難うございました。

今年度2回目の「かながわ子どもサポートドック」を12月に実施しました。これは、様々な困難を抱える生徒たちを、学校が積極的に把握し、SCやSSWによるプッシュ型面談等を経て、困難が重篤化する前に支援につなげていくための取組みで、今年度から全県立高等学校等で実施することとなったものです。期末テスト最終日を皮切りに各学年でアンケートを実施し、担任面談を経た後にSC、SSWによるスクリーニングを行い、学年全体で生徒の状況を把握し、対応方針を決定しました。1月以降は校内でプッシュ型面談やケース会議等を実施し、必要な生徒には外部の医療や福祉等につなぐこととしています。学校が生徒の抱える悩みを見過ごすことなく、また、悩みが深刻化しないうちに早期に適切な対応を図れるように、全教職員でしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

終業式では、2学期を振り返って私から生徒たちに、生徒の皆さんのお陰で40周年を祝う会が盛会となったこと、六国祭が生徒主体による近年稀にみる素晴らしさであったこと、部活動では上位大会進出や地域貢献活動での活躍があったこと等についてお話をさせていただきました。大船高校の生徒たちは一年一年しっかりと自分の力をつけて成長していると感じています。令和6年も自分のできることに挑戦し、大いに力を発揮してほしいと思います。

令和5年12月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆